

あなたと議会

トピック

永野地区で議会報告会を開催しました!

市政を問う
6月定例会の結果



2019
204号
8月26日発行



6月定例会本会議開会前に催された議場お茶会



鈴木 敏雄 議員



関係人口創出・拡大事業について伺う

質 問

①事業概要②本市の取り組みについて伺う。

答 弁(経済部長)

かめまファンの創出・拡大を目指します。

①この事業は総務省からの委託事業であり、本市を含め全国で44の団体が採択されました。事業のパターンには、「地域とのかかわりを持つ者を対象とする取り組み」、「今後地域とのかかわりを持つとする者を対象とする取り組み」、「訪日外国人の地域への関心を醸成する取り組み」、「都市住民等の地域への関心を醸成する取り組み」の4つがあり、本市の事業

は4番目に該当します。「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様にかかわる人々を指します。「交流人口」が観光などの「もてなされる側」であるのに対し、「関係人口」は「もてなす側」である市の側に立って、足りない力を補ったり、応援したりする方であり、本市の活力をより高めてくれることが期待できます。

②本市では、大きく分けて2つの取り組みを行います。1つは「姉妹まちの駅プロジェクト」で、設置数全国一を誇る本市の「まちの駅ネットワーク」と首都圏などほかの地域の「まちの駅ネットワーク」が姉妹提携することによって、相互交流を醸成するものであり、本市のまちの駅を巡るツアーなども実施する予定です。も

う1つは「いちご市民プロジェクト」で、全国の「かめまファン」などに本市の様々な情報を発信し、これによって本市に訪した方に「いちご市住民票」を発行するなどするものです。これは、親密感を演出することで、「交流人口」である観光客よりも、一歩居住者に近い存在である「関係人口」の創出につなげることを目的としたものです。

◆その他の質問事項

- アフターデスクティーンションキャンペーン(DC)について
- 鹿沼市地域活動ボランティア補償制度について
- 個人のふるさと納税について

市政を問う



← 議員紹介はこちらからどうぞ。各質問議員のQRコードからは、それぞれの一般質問の動画をご覧ください。

第2回定例会で15人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。





横尾 武男 議員



観光振興について伺う

質問

①市内の宿泊受入可能数②前日光あわの山荘の利用状況と課題について伺う。

答 弁(経済部長)

あわの山荘での活動環境を整えながら、さらなる利用客獲得に努力します。

①昨年末における本市の宿泊施設は、ニューサンピア栃木を初め、市内の旅館や古峯神社宿坊、台東区自然の村あわの山荘などの15施設がありました。今年度、ホテルルートイン鹿沼インターとHOTEL R9 The Yard鹿沼西茂呂の2つのホテルがオープンしたので、この2施設を合わせると、現在の宿泊受入可能数は

17施設、部屋数483室、収容人員は1,763人となっています。

②前日光あわの山荘は、本年4月1日から本市による運営が始まりました。5月末までの2カ月間の宿泊者は68組、294名となっており、台東区が運営していた昨年度と同等の水準で推移しています。開館日は、従来どおり、金曜・土曜・日曜・月曜の週4日のみですが、これまで台東区民などに限られていた利用対象者の制限がなくなりましたことから、施設としての利便性は向上したと考えています。現在、テントサイトの整備を行っており、これがオープンすれば、さらに利用者の拡大が見込まれます。課題としては、公共交通機関の活用

の推進、自炊をしない宿泊者への朝食の提供、台東区民以外への知名度向上、従業員

◆その他の質問事項

- 緑化木産業の振興について
- 快適な生活環境づくりについて
- 道路整備事業について

の安定的な確保などが挙げられます。今後は、これらの課題の解決を図りつつ、周辺の自然環境に関する情報等を充実させるなど、あわの山荘での活動がより密度の濃いものにしていく環境を整えながら、さらなる利用客を獲得できるよう努力していきます。

石川 さやか 議員



未就学児の視力検査について伺う

質問

①幼稚園・保育園等での実施状況②3歳児健診での実施方法と課題③弱視等発見のための対策について伺う。

答 弁(保健福祉部長)

高精度の検査機器導入により、弱視等の早期発見・治療につなげます。

①市内の幼稚園、公立・私立保育園及び認定こども園の全28園中、約8割の23園において、3歳以上の児童を対象に、絵指標による視力検査を実施しています。未実施園につきましては、今後実施を働きかけていきたいと考えています。

②事前に問診票の記入と絵指標による視力検査を家庭で実施した上で、健診会

場で保護者から聞き取りによる確認を行います。家庭でうまく検査ができなかった場合は、健診会場で再検査をしています。問診票と絵指標の検査結果から、精密検査が必要となった場合は、紹介状を発行し、医療機関受診を促しています。

子どもの目の機能は3歳頃までに急速に発達し、この時期に視力の発達が妨げられると弱視となる恐れがあり、就学前に早期発見し、早期治療につなげる必要があります。しかし、問診票と絵指標による視力検査では異常に気づきにくいこと、発達等に課題があり、検査の実施が困難な子どもは視力の問題でなくとも精密検査が必要となってしまうことなどの理由により、日常生活に問題はないと判断されがちで、その結果、要精密検査受

診率が約50%と低くなっています。

③3歳児健診で弱視につながる乱視や斜視等を発見できる屈折検査機器に、ハンディタイプの持ち運び式で、数秒で検査ができ、その場で結果が出せるものがあることで、早急に導入したいと考えています。これにより、精度の高い検査結果となり、精密検査受診率の向上が図れ、早期発見につながると考えています。

◆その他の質問事項

- 特殊詐欺被害対策について
- 鹿沼市パートナーシップ宣誓制度について



小島 実 議員



森林資源の利活用について伺う

質 問

①雪害を受けた間伐材等の利用状況②建設中の壬生発電所の概要と本市の対応について伺う。

答 弁(経済部長)

壬生町に建設中の発電所において、本市の木材を活用してもらえよう働きかけていきます。

①平成26年2月の雪害については、国県の補助事業を導入しながら対応を進めており、昨年度末時点で1,152ヘクタールの処理が完了しました。また、雪害対策の補助を導入することによって、森林経営者にとっては間伐材として搬出するための負担経費が軽くなるため、約5割程

度の材が搬出され、主に木質チップとなり、バイオマス発電等に用いられています。②この施設は県内を中心として発生する未利用木材、一般材、リサイクル木材の木質チップ及び丸太などを燃料として受け入れ、蒸気タービン発電方式により発電した電気を供給する施設であり、供用開始予定は本年11月と聞いています。敷地面積は6万7千平方メートル、出力は1万8千キロワットで、一般家庭約4万2千世帯に安定供給できる電力を生み出すとことです。未利用木材などを燃料として活用することは、荒廃した森林の整備や木材の需要拡大などにもつながっていくと考えています。本市の場合、建設位置から約20キロ圏内という地

◆その他の質問事項

- ごみ減量について
- ご当地ナンバーの導入について
- 水源地域振興拠点施設整備について

理的要因もあり、輸送費などの面で他市町と比べて有利と考えていますが、本市の木材を活用してもらえよう、林業・木材業界と協力しながら、供用開始を待たず積極的に働きかけを行っていききたいと考えています。



島田 一衛 議員



災害時のペット同行避難について伺う

質 問

①本市の状況②避難訓練の対応③防災研修④飼い主への周知について伺う。

答 弁(市長)

地域の避難訓練等の中で、諸課題を想定した対応が必要と感じています。

①本市の地域防災計画では、「避難所にペットのための空間を確保するよう努める」としていますが、避難、保護、飼育は飼い主が行うことを原則としています。避難者の中に動物アレルギーを持つ方などが含まれている場合には、飼育場所を施設内に設けることは困難であることから、飼い主が持参したケージ等で飼育で

きるよう、原則雨の当たらない屋外の場所を指定することになります。②環境省においては、自治体における災害時のペットの救護体制の参考となるガイドラインが定められており、動物愛護や生活環境保全の観点等から、同行避難は必要な措置であるとされており、その中で、飼い主の災害時の対応や日頃のしつけなどについても記載されているところです。今後の課題として、各地域で行われている避難訓練においてペットの同行避難も含めた対応を講じるべきかどうか、主催者である地域の方とも相談していききたいと考えています。③自治会等で実施している出前講座などの防災研修において、災害時におけるペットの救護対策の内容を含めて説明し

◆その他の質問事項

- 動物愛護管理の対策強化について
- 茂呂山の整備と活用について
- SNSによる鹿沼市の情報発信、PRについて

ていききたいと考えています。④上都賀獣医師会と連携しながら、環境省で発行しているパンフレットなどを活用し、予防接種などの機会に周知を図っていききたいと考えています。



加藤 美智子 議員



鹿沼市営業戦略について伺う

質 問
① 主な事業② 目標達成状況③ ショートフィルムを活用④ フィルムコミッションの設置について伺う。

答 弁(総務部長)
現在、本市独自のフィルムコミッション立ち上げの準備を進めています。

① イメージ戦略ではいちご市宣言、いちご市懸垂幕の作成、ネクタイの開発、イベント関係では「いちごのもり」や記念コンサートの開催、PR戦略ではプレスリリースの強化、セールス戦略では首都圏へのPR活動、「いちご市KANUMAサポーターズ制度」の発足などです。

② 2016年度は、1日当たりのホームページアクセス数2,800件に対して実績は2,676件です。2017年度は、年度内の記者クラブ加盟紙への記事掲載数400件に対して実績367件で、2018年度も同じ目標425件に対して実績439件でした。首都圏在住者の75%がいちご市を認知しているというアンケート結果も出ており、今後もメディアやSNSの活用など、幅広い宣伝活動を展開していきます。

③ これまで作成した約10作品について、市内での上映会のほか、昨年は埼玉県深谷映画祭で上映するなど、市外への発信にも活用しています。また、2作品については、YouTubeで視聴できます。今後も、PR手段として積極的に

◆その他の質問事項
○こどもを育む環境について
○地域の夢実現事業について

に活用していきたいと考えています。

④ フィルムコミッションは、メディアを通じた市のイメージアップや魅力のアピールを目的に、ロケ誘致や映像制作のサポートを行うものであり、本市では組織化されていませんが、観光交流課で業務を担っています。現在はノウハウを鹿沼市観光物産協会に引き継ぎ、番組等の撮影補助などを行うとともに、本市独自のフィルムコミッション立ち上げの準備を行っています。



阿部 秀実 議員



公共交通について伺う

質 問
① リーバス利活用の推進策② 予約バスの運行拡大③ 新たな取り組みについて伺う。

答 弁(市民部長)
公共交通未整備地域の交通手段確保を引き続き検討していきます。

① 一つには、中心市街地と東部台を結ぶ「まちなか線」の運行ルートの見直しと目的地への時間短縮などを図っていきます。また、各年代層をターゲットとした利用促進事業として、高齢者向けには「お試し無料乗車券」の発行、若者向けにはバス情報のオープンデータ化を進め、スマートフォンで乗り換えの検索ができるようにするなど、利便性の向上を考え

ています。そのほか、停留所への路線図の新設や各居住地区から目的地へアクセスしやすい運行マップの作成、エコ通勤統一行動における市職員や民間企業等へのリーバス通勤の呼びかけなどに取り組みしていきます。なお、新元号となった去る5月1日には、「新元号乗車記念カード」を全路線で配布し、利用促進を呼びかけたところでです。

② 予約バスの運行エリアは4つの地域が設定されており、概ねリーバス路線地域とまちなか3地区以外をカバーしています。運行エリアの拡大には、民間交通事業者等との調整が発生する場合がありますが、利用者の要望が高い運行エリア外の新たな目的地については、調査検討していきます。

◆その他の質問事項
○歩道整備について
○鹿沼運動公園キョウトウベリースタジアムの整備について
○オスプレイの本市上空の飛行について

③ 本市では、社会福祉協議会が福祉移送サービスを実施しています。また、宇都宮市では、地域住民が地域内交通を運営しています。いずれも、公共交通が十分にカバーしきれない地域の交通手段として有効な方法でありますが、コストや担い手確保の継続性などの問題がありますので、引き続き民間事業者と調整しながら検討していきます。



津 久井健吉 議員



道路整備について伺う

質 問

①市道7020号線の改良②市道改良の要望③市道の維持管理状況④今後の市道改良について伺う。

答 弁(都市建設部長)
市道7020号線の一部を拡幅します!

①市道7020号線は、深津地内市道0006号線からあさひ台工業団地内を經由し、茂呂地内の市道7019号線までの延長1,880メートルの3級市道です。同工業団地北側部分は木工団地からのアクセスとしての利用が多いと思われませんが、対象路線ではないため交通量調査は行っておりません。同工業団地入り口

から同木工団地に向かって約70メートルの区間については、茂呂自治会等からの要望を受け、幅員7メートルへの拡幅を予定しています。

②市道改良の要望は、地元の代表者が隣接地権者の同意書等を添えて要望書として提出するもので、随時受付しています。現時点で提出されている要望書は37件で、整備済み及び整備中が13件です。

③平成30年度において、舗装改修工事は幹線道路を主体に13路線、延長約5キロメートルを実施しました。また、職員のパトロールや市民からの情報をもとに、舗装補修56カ所、穴埋め等約90カ所を実施しました。そのほか、業者や自治会、地域の団体等に維持管理業務を委託しています。引き続き限られた予算の中で、効率

◆その他の質問事項

○新庁舎建設について



赤 坂 日出男 議員



災害備蓄食料について伺う

質 問

3日分から2食分に見直した経緯について伺う。

答 弁(総務部長)
家庭内での効率的な食糧備蓄「ローリングストック」の周知を図っています。

一般的に推奨されている食料の備蓄量は3日分です。本市の地域防災計画においても、行政と住民が分担して3日分の食料や飲料水を備蓄することとしています。これまで、市民は家庭内で3日分の食料や飲料水を備蓄し、市はそれを補完するものとしてさらに2日・6食分を備蓄してきましたが、現状では、栃木県や

近隣自治体との災害協定に基づく備蓄品の共同利用や民間団体との物資提供などの協定による調達が可能であると考えています。また、国でも、熊本地震を契機として、災害発生直後から、自治体の要請を待たず、被災地に対し物資を供給する「プッシュ型」支援を実施しており、西日本豪雨災害においても多くの支援物資が届けられました。このように、家庭内備蓄の推進や自治体間などの相互協力に加え、国からの支援も考慮すると、災害発生時においても長期間物資に不足が生じる可能性は低いと考えています。そのため、今回、市民の家庭内備蓄を補完する市の備蓄量の目標を6食分から2食分に見直したものです。

なお、家庭内備蓄におきましては、長

◆その他の質問事項

○農業行政について

期保存食などに限定せず、日常で使用する乾めんや缶詰、レトルト食品などを多めに購入し、使ったら買い足すことを繰り返す「ローリングストック」を推奨しており、効率的に食料備蓄ができるよう、広報紙やホームページのほか、出前講座などを活用しながら、市民への周知を図っていきたくと考えています。

的・効果的な維持管理を実施していきま

④現在、幹線道路等については、円滑な交通の確保や都市構造上の位置づけ、歩行者や自転車の安全確保等の観点から、順次整備を進めています。地元要望による生活道路は、地元の協力体制や周辺の土地利用状況、地域間のバランス等を考慮しながら優先順位を決定し、整備を行っています。今後も引き続き国庫補助金等を活用し、進めていきます。



市田 登 議員



東大芦コミュニティセンターの整備について伺う

質 問

①これまでの修繕状況②今後の維持管理の考え方について伺う。

答 弁(市民部長)

引き続き地域の皆様に利用してもらえるよう、適切な維持管理に努めます。

①東大芦コミュニティセンターは、昭和53年に建築され、鉄筋コンクリート2階建ての施設で、東大芦地区公民館としてオープンして以来、コミュニティ活動の中心的施設として、地域の皆様に活用されてきた施設であります。今年で築41年を迎えますが、近年では、建物の傷みが目立つようになり、壁紙のはがれや、外壁のひ

び割れ・剥離、豪雨時の雨漏りなど、経年劣化が著しく、外階段もひび割れが生じていることから使用を控えている状況です。近年では、平成28年度にエアコンの修繕、浄化槽プロワの修繕、トイレの排水修繕など、それから平成29年度は、浄化槽の原水ポンプの修繕、トイレの給排水などを修繕してきました。昨年度は、1階団体事務室と2階和室にエアコンを1台ずつ更新したところであります。

②当面は適切な維持補修に努めていきます。東大芦コミュニティセンターについては、築年数、それから施設の状態からも、建て替えの必要性は高いと認識しています。ただ、現在、北犬飼コミュニティセンターと西大芦コミュニティセンターでも整備を進めているところですので、当

◆その他の質問事項

- 教育行政について
- 新庁舎整備について
- 建設工事の発注について

面は適切な維持管理を行うことで、引き続き地域の皆様に利用していただけるよう努めたいと考えています。今後につきましては、市内にはコミュニティセンターが全部で14カ所ありますので、それらの更新の進め方について、10年ほど先を見越して、内部で検討していきたいと考えています。

鈴木 毅 議員



市内の人口減少問題について伺う

質 問

産科医療機関等の減少について伺う。

答 弁(保健福祉部長)

本市を含む3市で構成する周産期医療圏として、「選択する医療機関がある」と認識しています。

市内の産科医療機関は、平成24・25年は3カ所あり、うち分娩取扱医療機関は2カ所でした。平成26年から平成30年までの5年間は、平成24・25年に休止していた総合病院の産科が再開したため、産科医療機関は4カ所、うち分娩取扱医療機関は3カ所でした。平成30年2月からは、産科医療機関数は変わりませんが、分娩取扱医療機関は1カ所減の2カ所となっております。

います。

産科医療機関等は市内にたくさんあったほうがいいという考えもあるかと思いますが、今現在、妊娠した方の約半数は市外で出産しています。同じく産科医療機関等のある宇都宮市や壬生町なども近接しているというのがありますし、また、日光市と宇都宮市と本市の3市が1つの周産期医療圏を構成しており、栃木県の方でも、その圏域の中での産科の数というのを考慮して対策を考えているということですが、市内の分娩取扱医療機関は2カ所ですが、現状で「不便である」とか、「困っている」という事実は、把握していません。妊娠した方は、費用や設備、医療機関までの距離、医師ら職員の対応など、いろいろな要件を考慮して、どこで産むか

◆その他の質問事項

- 条例制定について
- 行政が開示する資料について
- 認定外道路や普通河川等の用途廃止について

というのを決めている状況であり、したがって現時点では、「選択する医療機関がある」と認識しています。



佐藤 誠 議員



中学校の制服と多様性の尊重について伺う

質 問

①ズボン・スカートの全校共通化②女子生徒のズボン着用③ダイバーシティ教育について伺う。

答 弁(教育長)

女子生徒もズボン着用を選択できるよう、周囲の理解を図りながら進めていきます。

①現在は学校ごとに制服を指定しており、各校のシンボルとして定着し、地域に広く認知されています。また、生徒が校風や伝統を感じることで、愛校心の醸成にもつながっています。ズボン・スカートの共通化は、購入費用の軽減等が考えられますが、総合的な検討が必要であり、今後

も生徒や保護者、学校の意向等を尊重するとともに、校長会等とも連携を図っていきたく考えています。

②本市では、文部科学省通知「性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」などをもとに、学校におけるLGBTに対する理解促進に努めてきましたが、今般の「パートナースhip宣誓制度」の受付開始に当たり、LGBTへの対応等について改めて各校に周知しました。今後、学校での受入体制の充実化、個々の事案に応じた対応など、一層の意識づけを図っていきます。その中で、女子生徒のズボン着用については、当人への配慮と周囲の理解を十分に図りながら、選択できるように進めていきます。

◆その他の質問事項

- 職員の懲戒処分について
- 幼児教育・保育の無償化について
- 保育士の労働環境改善について



谷中 恵子 議員



自治会における配布物負担の軽減について伺う

質 問

①配布作業軽減のための配慮②自治会からの改善要望③今後の軽減策について伺う。

答 弁(市長)

配布物の削減を図りつつ、きめ細かな情報提供ができるよう創意工夫に努めます。

①平成22年度以降、月2回発行していた広報かぬまを月1回とし、配布にかかる負担の軽減を図りました。また、本年度においても、配布物の必要性を組織内で十分検討した上で、発行回数等の見直しを行い、昨年33件あった配布物を28件に削減したところです。

②自治会連合会の理事会におきましては、市の配布物について、「25日が日曜日ときは、金曜日に発行してほしい」、「あるいは「配布物の量が多い」、「新聞折り込みにしてほしい」などの要望があります。一方で、配布物を回覧することで、「隣同士の声かけや確認など、コミュニティの維持に役立っている」という声も聞いているところです。

③今後も配布物の必要性を十分検討し、緊急性を伴わない新規の配布物の発行を極力行わないように努めます。例えば、広報かぬまの中に折り込む形や広報に記事として掲載する形など、配布物の削減を図りつつも、きめ細かな情報提供ができるよう、創意工夫をしていきたいと考えています。また、自治会連合会のご意見も

伺いながら、各種軽減策を検討していきたいと考えています。今後も、自治会長さんの皆さんにはご苦労をおかけすることがあるかと思いますが、市民の皆さんへの適切な情報提供のため、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆その他の質問事項

- 市道0029号線(旧楡木街道)の整備について
- 外国人の児童・生徒への日本語支援について



鯨原 一男 議員



栗野地域(旧栗野町)について伺う

質問

栗野地域の現状と課題について伺う。

答 弁(市民部長)

市民生活の基盤となる社会インフラの維持や基幹産業である農林業の振興など、様々な課題解決に取り組む必要があります。

栗野地域の人口動向は、地方における全国的な傾向と同様に減少が続いており、さらなる人口減少は生活利便性や地域魅力の低下を招くことが危惧されています。そのような中、本市では、「取り組む全ての事業が人口減少対策である」との認識に立ち、各種施策を展開しています。栗野地域においても、引き続き市民生活の基盤

となる社会インフラの維持や基幹産業である農林業の振興を初め、様々な課題解決に向けた取り組みを進める必要があると考えています。
4地区それぞれの課題ですが、栗野地区については「高齢化による各種団体の運営難」、「後継者不足による一部団体の解散」など、粕尾地区では「林道や農地等への不法投棄への対応」、「野生鳥獣の被害拡大による農業者の生産意欲減退や担い手の農業離れ」など、永野地区では「運営スタッフの高齢化によるそばの里永野や永野フレッシュ直売所の閉鎖」、「野生鳥獣対策のワイヤーメッシュ未設置地区での被害」、「保育園児の減少により、イベントへの参加ができないこと」など、清洲地区では「西中核団地の企業進出に伴う通勤

◆その他の質問事項

- 鹿沼市職員の綱紀粛正について
- 新庁舎整備事業について
- 市長の政治姿勢について

時の交通量増加」、「小学校児童の減少による複式学級への不安と世代による学校統合に対する考え方の違い」、「各種団体の役員の高齢化による運営と事業の継続」などが挙げられます。また、地域の夢実現事業に伴う住民アンケートの結果では、「少子高齢化」、「野生鳥獣」、「公共交通」、「防災対策」などが各地区で上位でした。

大貫 毅 議員



成年後見制度の利用促進について伺う

質問

①利用状況②制度の周知③中核機関の設置と計画策定④市民後見人の養成について伺う。

答 弁(保健福祉部長)

市民後見人の養成について、検討していきます。

①宇都宮家庭裁判所によると、後見人等選任の申立件数は、平成27年から29年までの3年間で、「後見」43件、「保佐」5件、「補助」6件の合計54件です。また、身寄りが無いなどの理由で市長が行った申し立ては、制度開始の平成12年から平成31年3月までで19件でした。平成28年の法施行により制度利用の需要は増える傾向にあり、

特に今後、認知症高齢者数の増加が予測されることから、支援を強化していく必要があると考えています。

②社会福祉協議会との連携により、制度の相談や市民・専門職向けの講座・研修等を開催しています。また、昨年度から、成年後見センター・リーガルサポートの協力のもと、市民や専門職を対象にした相談会を月1回開催しており、今後も一層、周知・啓発を図っていきたく考えています。

③本市では、成年後見制度相談会などの中核機関の担うべき役割を一部実施しており、その機能をより充実させ、中核機関の設置に向け進めていきたく考えています。また、法律で努力義務とされている「成年後見制度利用促進計画」の策定につきましましては、既存の「地域福祉計画」等

◆その他の質問事項

- 障がい者等の地域生活支援拠点等の整備について
- 子どもの貧困対策について
- 前日光県立自然公園の観光面での活用について

との一体的な策定もできることから、どのように反映させていくかを検討していきたいと考えています。
④市民後見人は、今後制度の利用者が増えると予測される中、弁護士・司法書士などの専門職後見人の不足を解消するものとして期待されています。本市では現在、市民後見人を養成していませんが、今後、他市町の動向を見ながら、検討していきたいと考えています。

賛否の分かれた議案等【可決】

専決処分事項
(条例の一部改正)

議案42 鹿沼市税条例等の一部改正について
地方税法等の一部改正に伴い、市民税におけるふるさと納税制度の対象となる寄附金の見直し及び消費税率引上げを踏まえた住宅ローンの控除期間の延長、軽自動車税における課税額の軽減等を行うためのものです。

条例の一部改正

議案46 鹿沼市税条例の一部改正について
地方税法の一部改正に伴い、子どもの貧困に対応するための市民税の非課税措置の拡大、消費税率引上げを踏まえた軽自動車税の環境性能割の臨時的な軽減等を行うためのものです。

賛成

【公明党】荒井正行・鈴木敏雄
【自由民主党】増淵靖弘・横尾武男
【経世会】石川さやか・館野裕昭・小島 実
【無所属市民クラブ】加藤美智子・大貫武男・船生哲夫
【親悠会】市田 登・谷中恵子・関口正一
【自民党クラブ】鈴木 毅・津久井健吉・鵜原一男・赤坂日出男
【無所属】佐藤 誠
【民主クラブ】島田一衛・大貫 毅

反対

【日本共産党】阿部秀実



全議員が賛成した議案【可決】

専決処分事項(平成30年度補正予算)

議案39 平成30年度鹿沼市一般会計補正予算(第4号)について

歳入については、市税、自動車取得税交付金、地方交付税、国県支出金、諸収入、市債等の増減額を計上し、歳出については、財政調整基金積立金、公共施設整備基金積立金、生活保護扶助費、中小企業経営対策事業費、道路長寿命化対策事業費、新鹿沼駅西土地区画整理事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を49,935千円の増とし、予算総額を38,614,961千円とするものです。

議案40 平成30年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について

歳入については、国民健康保険税、県支出金、諸収入等の増減額を計上し、歳出については、出産育児一時金支給事業費、国保健康づくり事業費、国民健康保険財政調整基金積立金等の増減額を計上したもので、この補正額を109,822千円の増とし、予算総額を11,059,415千円とするものです。

議案41 平成30年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

歳入については、後期高齢者医療保険料及び繰入金の増減額を計上し、歳出については、健診事業費、後期高齢者医療広域連合納付金等の増減額を計上したもので、この補正額を2,216千円の増とし、予算総額を1,062,374千円とするものです。

専決処分事項(条例の一部改正)

議案43 鹿沼市都市計画税条例の一部改正について
地方税法の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。

議案44 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正について
地方税法施行令の一部改正に伴い、所得の少ない世帯に対する国民健康保険税の減額措置が適用される納税義務者の範囲を拡大するためのものです。

議案45 鹿沼市介護保険条例の一部改正について
介護保険法施行令の一部改正に伴い、所得の少ない第1号被保険者の保険料を減額するためのものです。

議案47 鹿沼市手数料条例の一部改正について
建築基準法の一部改正に伴い、用途地域における建築等の許可を受けた建築物の増築等に係る許可申請手数料等の額を定めるためのものです。

議案48 鹿沼市火災予防条例の一部改正について
住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、特定小規模施設用自動火災報知設備を設置した住宅への住宅用防災警報器等の設置を免除するためのものです。

議案49 鹿沼市固定資産評価員の選任について
(下段の「6月定例会の結果」をご覧ください。)

条例の一部改正

人事



請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に善処を要望することです。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と言います。陳情も請願に準じて取り扱います。

請願・陳情は、議会において採択の可否を審査します。ただし、陳情は、その内容等によっては請願に準ずる審査等をしていない場合があります。

【請願・陳情の提出要領】

A4判、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

令和元年第2回 6月定例会の結果

人事

人事案件が議決されました。(議案第49号)

鹿沼市固定資産評価員

渡邊 政幸(わたなべ まさゆき・下永野)

▶用語解説「固定資産評価員」

固定資産を適正に評価し、市町村長が行う価格の決定を補助する。固定資産の評価に関する知識及び経験を有する者のうちから、議会の同意を得て市町村長が選任する。



丸一年かけて、市内各地区を一巡しました

市議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、昨年5月から各地区で議会報告会・意見交換会を開催してきました。
(開催要望地区のみ)

最終回となった今年5月の永野地区の開催結果をお知らせします。

～もっと「議会」を身近に～

特集 議会報告会・意見交換会

議会の概要や活動等を報告した後、「少子高齢化・人口減少」をテーマに、参加者からの質問に答える形で意見交換を行いました。その一部をご紹介します。

■定年後の雇用確保について

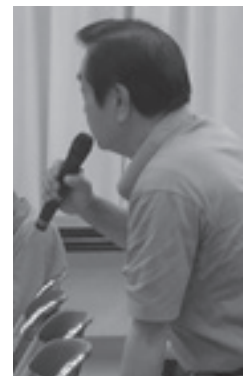
質問 高齢者の雇用確保というが、求職活動をしていて市内での60歳以上の再就職は難しいと感じる。

回答 年金受給開始年齢までの職の確保は重要な問題である。ハローワークとの連携による職業相談など、対策を研究したい。

■中山間地域における農林業対策について

質問 中山間地域振興の要は、やはり農林業だと思ふ。農林業の施策を重点的に進めてほしい。

回答 農林業の活性化は喫緊の課題と理解している。森林環境譲与税の活用、マカ等の作物振興、野生鳥獣害対策など、地域と相談して解決策を見つけていきたい。



■地域住民の声について

質問 地域からいろいろな相談をされると思うが、住民の声をどのように市政に届けているのか。

回答 各議員が様々な機会に地域住民と話し合いをもつことで、住民の声を吸い上げ、一般質問などを通じて要望や提案をしている。

■住民投票について

質問 住民投票についてどう考えているか。

回答 住民投票は、地域における問題の解決策の一つであるが、「地域を分断してしまう」などのデメリットもある。まずは、議員が議会において議論を尽くすことが最善と考えている。

■その他の意見等

- 県道上永野下永野線の一部狭隘な部分の拡幅が望まれる。
- 新駅構想が以前あったが、駅は人が集う場所なので、再検討してはどうか。
- 大学や短期大学を誘致することで、少しでも人口減少に歯止めがかかると思う。

【開催概要】

地区数	16地区
参加者数	575人
	男性 499人
	女性 76人

※うち永野地区では22人(男性21人、女性1人)の参加がありました。

皆さんの意見を議論・研究し、政策提言へとつなげます
広報広聴委員会委員長 鈴木 敏雄



昨年5月からスタートした「議会報告会・意見交換会」ですが、本年5月の永野地区をもって、16地区での開催が終了しました。それぞれの地区において、自治会長を始め多くの住民の方にご参加いただき、議会や様々な行政課題について貴重なご意見を賜りました。皆さんとの意見交換の内容やアンケート結果については、報告書にまとめるとともに、政策調査研究委員会ですらに議論を深め、市への政策提言へとつなげてまいります。今後も、開かれた議会を目指し、様々な機会に皆さんの声に耳を傾けられるよう、活動を充実・発展させていきたいと思っております。

議会からの お知らせ

全国市議会議長会から表彰を受けました!

市政発展に貢献した長年の功績により、本市の3名の議員が全国市議会議長会から永年勤続者表彰を受けました。



鯉原 一男 議員
議員15年表彰



関口 正一 議員
議員15年表彰



増淵 靖弘 議員
議員15年表彰

高校生が議会事務局の仕事を体験しました!

7月2日(火)から5日(金)までの4日間、栃木県立鹿沼商工高等学校商業科の生徒をインターンシップ実習生として受け入れました。

実習生には、議会だよりの原稿づくり、会議や視察の資料準備などの事務を体験してもらいました。

※この「あなたと議会」204号の下記のページの原稿を実際につくってくれました。

- ・4ページの島田一衛議員の一般質問
- ・8ページの佐藤誠議員の一般質問
- ・10ページの議案の議決結果
- ・11ページの議会報告会・意見交換会の開催結果



挨拶文や案内文作り、文書の要約など、普段できないことを体験できたので、とても充実した実習になりました。

仕事の大変さを実感した4日間でしたが、とても刺激になりました。今回の貴重な経験を今後役に立てていきたいです。



9月1日(日)は鹿沼市議会議員選挙です

申し合わせ

私たちは、公正・適正な選挙を実現するために、次の申し合わせをいたしました。

1. 公職選挙法を順守し、明るい選挙運動を実践いたします。
2. 酒、食事の提供はいたしません。

鹿沼市議会

政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。



贈らない!

求めない!

受け取らない!

政治家が選挙区内の人々に、祝金や祝品、あいさつ状などを出すことは禁止されています。

臨時議会が開催されます

令和元年9月1日(日)投開票の鹿沼市議会議員選挙後に、臨時議会が開催される予定です。会期日程の詳細は、決まり次第、市議会ホームページでお知らせします。

表紙の写真は

6月3日、定例会の開会に当たり、現役の茶道講師であり、鹿沼市茶華道協会初代会長を務めた落合仙洋氏をお迎えして、議場お茶会を開催しました。

ほとんどの議員が初めての体験で、講師の指導の下、緊張した面持ちでいつもよりも背筋を伸ばし、ややごこちない手付きで薄茶を点てました。本会議前の静かなひと時、一同自らのお点前(てまげ)に舌鼓を打っていました。